

鳥取県知事定例記者会見

鳥取県令和8年度当初予算案

人口減少時代に立ち向かう積極型予算

予算規模 **3,961** 億円(前年度比8.5%増)
制度金融の預託制度影響等を除いた実質予算としては過去最大規模

<主な歳入>

区分	R8予算	分析
県税	623億円 (+2.8%)	地方消費税、個人県民税の増 暫定税率廃止等の減収は地方特例交付金で措置
地方譲与税	138億円 (+5.1%)	特別法人事業譲与税の増
地方交付税	1,596億円 (+10.7%)	普通交付税の増(臨財償還基金費、物価高、人件費、教育無償化の増)
県債	302億円 (+5.1%)	新たな有利な起債(高等学校教育改革推進事業債)等の積極的活用
	前年度同額	

<財政誘導目標適合堅持>	年度中見込	誘導目標
財政調整型基金残高	216億円 ≥	200億円以上
実質的県債残高	3,622億円 ≤	3,800億円以下
プライマリーバランス	黒字11億円	毎年度黒字

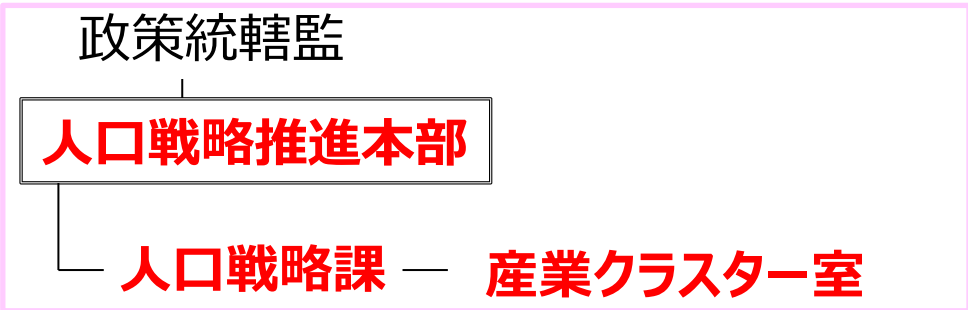
⇒ 達成に令和8年度予算で概ね見通しをつけた

<主な歳出>

区分	R8予算	分析
人件費	998億円 (+10.7%)	給与費、退職手当の増
補助費等	1,159億円 (+9.4%)	学校給食費負担経費、私立高等学校無償化等の増
普通建設事業費	641億円 (+4.9%)	若鳥丸建造、教育施設改修、米子アリーナ整備等
公債費	506億円 (▲0.6%)	利子の増(元金償還額は減)
積立金	114億円 (+18.6%)	地域未来基金、臨時財政対策債償還基金への積立等

人口減少社会に立ち向かう組織体制の整備

- 喫緊の課題である人口戦略の推進に向け、全庁を挙げて分野横断で取り組むため、**政策統轄監の下に人口戦略推進本部を設置**
- 同本部に**人口戦略課と産業クラスター室を設置し**、産業政策と一体的に人口戦略や移住定住・関係人口の増加を推進



令和8年度当初予算案

「活力あふれる未来へ」 241億円

- **若者の県内就職・定着応援**【30百万円】
若者視点による鳥取で暮らす楽しさを感じられるイベントの実施(一年を通じインターンシップへの導入、企業仕事体験、企業説明会等)
- **未来につながる関係人口拡大・強化**【10百万円】
若者版「ふるさと来LOVE」とっとりメンバーシップ制度の新設、市町村への二地域居住推進交付金の創設
- **アンコンシャス・バイアス解消に向けた県民運動**【26百万円】
業界団体等と連携して運動体を立ち上げ、アンコンシャス・バイアス解消に向けた宣言を行う団体・企業を登録し、活動を支援
- **機動的な観光需要の創出**【45百万円】
大阪・関西万博の「中の人」育成プロジェクトで培った企画力・発信力と400超の県内コンテンツを活かした観光情報発信、官民連携した話題づくり
- **映画「遥かな町へ」と連携した誘客促進**【18百万円】
令和8年秋に公開予定の映画「遥かな町へ」を契機とした映画ロケ地への誘客促進・海外も含めたアピール展開
- **サイクルツーリズムの推進**【68百万円】
「鳥取うみなみロード」ライドイベントの開催、台湾・韓国へのプロモーション、専門旅行社等PR訪問・旅行会社視察ツアー実施、旅行博出展
- **とっとり県営公衆Wi-Fi拡大**【20百万円】
全国的な大会が開催されるスポーツ競技施設への新たなアクセスポイント設置(倉吉自転車競技場、ヤマタスポーツパーク、あやめ池スポーツセンター)
- **とっとり産業クラスター**【5,005百万円】
国の地域未来戦略に呼応したとっとり産業クラスターの形成・拡大、分野別・プロジェクト別に高付加価値化や新規需要獲得、企業立地等を推進
- **鳥取県グローバルビジネス展開プラットフォーム構築**【68百万円】
県内企業の販路開拓を支援するためインド・欧州にサポートデスクを設置、県内企業の外需獲得を支援
- **戦略的リスクリングによる地域DX人材基盤強化**【19百万円】
金融機関や商工団体等の支援機関の職員を対象とした企業DX研修、大学と連携した企業内の経営層・管理職を対象とした研修実施
- **とっとり継承型農業誘致モデルの推進**【25百万円】
県外・地域外から新たに参入する経営体と受入地域のマッチング、伴走支援、地域と経営体が行う現地調査・試作支援
- **鳥取県梨生産振興**【134百万円】
特別対策品種である「二十世紀」、「新甘泉」、「王秋」に新たに「甘太」を加え、果樹園整備等を支援
- **木造化推進・木材利用加速化プロジェクト**【48百万円】
非住宅建築物の木造化推進、若手設計者の育成研修、非住宅木造化に係る工法開発等の支援

令和8年度当初予算案

「安心して暮らせるまちに」 237億円

- **「ぼうさいこくたい2026in鳥取」開催**【84百万円】
本県の特徴的な防災対策や食・産業の魅力をアピールし防災力向上へ(10月17日・18日、エースパック未来中心、鳥取県立美術館 ほか)
- **耐震化等の抜本的加速**【169百万円】
感震ブレーカーの設置支援(補助率を2/3→10/10に引き上げ)、住宅の耐震診断から改修までの支援(全て10/10に引き上げ)
- **広域防災拠点の整備**【162百万円】
大規模災害時の広域防災拠点として道の駅ほうじょう周辺に大型ヘリが離着陸可能なヘリポートを整備(R9年度完成へ)
- **原子力防災対策事業**【513百万円】
防災活動資機材整備、原子力防災訓練、住民に対する普及啓発等の原子力防災対策を強化
- **渇水対策の推進**【9百万円】
地域の話し合いによる渇水対策計画作成の手引き策定、渇水に備えた資機材の事前調達・渇水時の応急対策支援
- **ツキノワグマ等総合対策**【44百万円】
出没地域に対する要因調査、学習会開催、侵入防止柵の設置指導、放任果樹伐採支援、生息状況調査、捕獲者育成
- **犯罪被害者寄り添い支援**【121百万円】
市町村と連携した県内統一の経済的支援制度を創設(死亡:100万円、重傷病:30万円又は50万円、転居・防犯対策:~20万円 等)
- **偽・誤情報からの県民の保護**【10百万円】
フェイク情報の拡散状況のモニタリング拡充(新たにTikTokやYouTube等のネット動画も)
- **地域交通の維持・確保**【489百万円】
女性ドライバーが働きやすい職場環境整備を行う事業者への支援、バス・タクシー事業者のドライバー確保支援拡充
- **ネイチャーポジティブの推進**【27百万円】
ネイチャーポジティブ経済の実現に向けた官民連携プラットフォーム、全国の企業と県内保全団体等とのマッチング
- **GREEN×EXPO2027(R9.3~横浜市)**【38百万円】
自然や文化等を表現した庭園を出展、ステージイベントや来場者参加型イベントを展開
- **老人福祉施設の長寿命化支援**【200百万円】
老朽化した介護施設の大規模修繕に要する補助を新設(補助率:県1/2、上限20,000千円)
- **学びの保障のための不登校対策**【82百万円】
専門家等による学校支援チームによる包括支援体制の構築、小・中学校への校内サポート教室設置支援
- **物価高等支援**【2,261百万円】
低所得者等への家計負担対策、医療・福祉・保育施設、子ども食堂、私立学校、交通事業者等への物価高騰支援、肥料・飼料高騰支援

令和8年度当初予算案

「一人ひとりが輝く社会へ」 220億円

- **子育てを応援する社会づくり**【11百万円】
子育てパスポートの利用拡大(祖父母など別世帯家族に利用拡大)、子育てイベント開催費助成
- **特定不妊治療費助成の対象拡大**【100百万円】
当事者からの声を踏まえ、治療開始年齢に応じた制限を撤廃(年齢にかかわらず6回／子に拡充)
- **プレコンセプションケアの拡充**【20百万円】
若者世代が、いつでも気軽に専門家に相談できるデジタル保健室を開設健診結果等を分析し、健診受診の必要性や健康づくりを啓発
- **こどもの権利擁護を図る県版アドボカシーの推進**【14百万円】
アドボキットの周知、派遣先拡大を図るコーディネーターを配置し、こどもがアドボキットに直接アクセスできる拠点を設置
- **地域を支える人材確保対策**【9百万円】
民間における介護・障がい・子育て分野を横断した奨学金返還支援、県職員確保が課題の土木・獣医師等への奨学金返還支援
- **大学と連携した教員確保対策**【3百万円】
鳥取大学が新設する「地域教員希望枠」により入学した学生に奨学金を貸付(大学卒業後県内学校に6年間勤務で返還免除)
- **中山間地域への医療提供体制確保**【54百万円】
医学生への入学前・在学中の県内医療体験研修による医師育成・確保強化、オンライン診療支援、訪問看護に係る熱中症対策
- **学校給食費の抜本的負担軽減**【1,533百万円】
市町村立小学校等への学校給食費支援、県立特別支援学校小学部の学校給食費無償化
- **県立高校の体育館空調・トイレ洋式化の推進**【201百万円】
体育館空調:7校分を設計(令和9年度完成予定)、トイレ洋式化:令和8～10年度に178器を整備予定
- **アートな鳥取の創出**【131百万円】
県立美術館での世界的アーティスト「リクリット・ティラヴァニ」を招いた参加型交流イベント、森の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭との連携シンポジウム
- **青谷弥生犬を活用した「とっとり弥生の王国」ブランディング強化**【27百万円】
青谷で出土した骨の骨格やDNA分析による骨格・生体復元標本作製(※青谷上寺地遺跡からは全国最多の88個体以上のイヌの骨が発見)
- **全国中学校体育大会(中国ブロック開催)**【24百万円】
8月17日～25日、新体操(鳥取市)、バドミントン(米子市)、相撲(倉吉市)を開催
- **ワールドマスタースゲームズ2027関西鳥取県大会開催準備**【120百万円】
競技設営・交通等の準備やボランティア募集、韓国・台湾をはじめとした海外からの参加者獲得・誘客促進

県民の命を守る救急医療体制を確保するため、年間運航確保へ

- ・鳥取県とドクヘリ運航事業者と直接契約へ
- ・機体整備等により通年運航が1社では困難
➡他事業者によるスポット運航も併せて調整
- ・関西広域連合内での相互応援体制など周辺地域とのアライアンスは引き続き継続



2月7日から8日にかけての大雪等の災害への対応

337百万円
+R7大雪 100百万円

・大雪被害の復旧等に迅速に対応するため、今年度予算で確保している「災害復興調整費」(100百万円)を2/16発動

<災害復興調整費の状況>

R7当初予算措置:50百万円 R8.1専決予算(地震対応):100百万円

・**境漁港の震災復旧事業等は令和8年度当初予算に計上**
(漁港災害復旧費220百万円、耕地災害復旧事業117百万円)

被害状況(2/16時点)
○農業用施設被害件数:計15件
○農作物被害(白ねぎ、ブロッコリー等):調査中



ブロッコリー、白ねぎの被害状況

【農業用ハウスの復旧支援】
(県1/3、市町村1/3等)

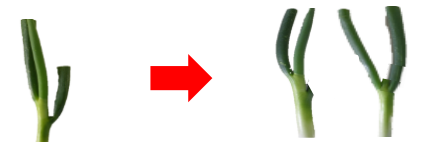
・ハウスや果樹棚・樹体の撤去費
及び復旧・設置に係る費用



【雪害農作物(白ネギやブロッコリー)の販売促進支援】
(県1/2、JA等1/2)

・PRポスター、専用出荷箱等の作成
(販売促進に係る費用(店舗での試食宣伝等))

出荷規格の緩和



葉は少なくとも雪をかぶっていることで甘みが増し美味しさアップ

▶ 鳥取が好きな若者(関係人口)を増やしていく 若者版「ふるさと来LOVEとっとり」の創設

- ・「LINEとりふる」を活用したタイムリーな情報提供
- ・会員同士のコミュニティ形成
- ・特典の付与等

《加入特典例》

①WEBマガジンの発行

②専用コミュニティへの加入

③各種クーポンプレゼント

④交通費支援

県内外の若者たちが
つながる



主な
対象者

県内学生
高校生

小中高生・帰省
した県外学生

帰省した県外
学生や保護者

県内小中高生
県内学生

目的

学生と企業・学校
との接点づくり

企業仕事体験
学校紹介

県内企業紹介
就職相談

地元愛醸成
企業仕事体験

内容

・学生と企業との
マッチング
(インターンシップへの導入)
・学校紹介
・ステージイベント 等

・仕事体験
・学生と社会人、
異業種間交流会
・ステージイベント 等

・企業説明会
・就職相談会
・保護者向けセミナー
・ステージイベント 等

・小中高生の
CMコンテスト
発表、高校生の
探究学習発表
・仕事体験
・ステージイベント 等



▶ 二地域居住推進交付金制度の創設

実施主体：特定居住促進計画を策定（予定含む）の市町村

補助率：1/2

上限額：1,000千円/市町村

《対象経費》

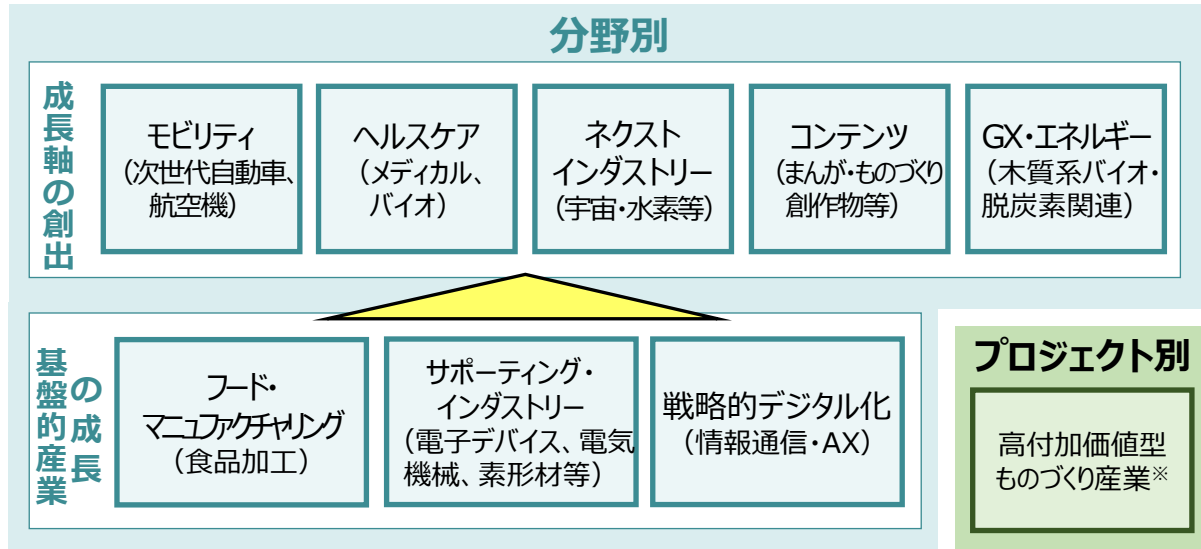
- ・二地域居住希望者等に対する情報発信
- ・相談対応等を行う二地域居住コーディネーターの設置
- ・二地域居住のための受け入れ環境整備
- ・二地域居住等体験ツアー など



※ 参加案内・申込み・受付・アンケート等は
「LINEとりふる」(2/18運用開始)を一貫して活用

国の地域未来戦略に呼応し、とっとり産業クラスターの形成・拡大を図り、地域経済の成長・発展を推進

- ・県内産業の集積等を踏まえ、**分野別・プロジェクト別**にとっとり産業クラスターの推進分野を設定



産業未来共創条例の重点分野にクラスター関連分野を位置付け、企業の取組を重点支援

- ✓ クラスター関連事業の**成長投資・研究開発・経営革新**を産業未来共創補助金・産業未来研究開発補助金で重点支援
- ✓ クラスター関連事業の**設備投資**を低利・超長期の制度融資で支援、先進的取組等は当初5年間の金利負担を1%相当に利子補助

※ **高付加価値化を目指す企業**（例 誘致企業と連携したグループ「DUNE」構成企業）の人材育成・技術開発・設備導入等を一体的に支援

渇水対策の体制整備

県が「渇水対策計画作成の手引き」を作成し、地域が実施する資機材等の調達を支援 【負担割合】国1/2、県1/4（市町村負担と同額以下）

地域の話し合いによる渇水対策計画（市町村）

- ・用水確保のルール作り（節水・番水等）
- ・渇水時の地域の対応（応急時の段取り）
- ・連絡体制の構築（上下流の利水調整）
- ・計画に基づく給水ポンプ調達、井戸設置等



地域による話し合い
(ワークショップ)



現場確認（節水・番水
等の応急時の段取り）

渇水対策計画

県による「計画作成の手引き」

各市町村へ「計画作成の手引き」を配布・周知

地域の話し合いによる「渇水対策計画」の作成

「渇水対策計画」に基づくポンプ、土のう等の調達

渇水発生時の対策(渇水応急対策)

渇水計画を作成し、応急的に実施するポンプのリース等の経費を支援

【負担割合】国1/2、県1/4（市町村負担と同額以下）



渇水発生



○河川からの水中ポンプによる給水



○水路からのポンプ給水



○給水車による配水



○石積の堰の補強による河川からの引水状況

▶ 体育館空調整備推進

- 令和13年度末を目途として、**各校1棟ずつの空調を整備**
R8整備計画策定、7校設計(2校はR8中着工、R9夏稼働)
R9～年5校ずつ工事を実施

- 避難所以外の体育館、柔剣道場等にスポットクーラー設置(緊急熱中症予防対策を並行実施)

- 改修費・整備費のモデルを作成(レシピ化)し、県内市町村と共有

学校体育館空調設置例



▶ トイレ洋式化の推進

- 令和6～10年度に
普通教室棟等**9割以上洋式化**
(R7末 整備率:70.8%)

- 令和8年度:工事6校、実施設計6校

※令和8～10年度で178器



トイレ改修工事のイメージ

▶ GREEN×EXPO 2027

令和9年3月19日～9月26日 横浜市

砂丘や梨をメインに表現した庭園の出展、
食・まんが・観光と連携したイベントを通じ、
「食パラダイス鳥取県」の魅力を発信



公式マスコットキャラクター
トウキョウトウキョウ

鳥取県の参加内容

出展ブース(庭園) (期間中)

砂丘と梨をメインとし、白兔海岸や大山、郷土文化など、“鳥取らしさ”をちりばめ、楽しんでもらえる庭園を設置



庭園のイメージ

イベント(開幕時、6～7月、8～9月を検討中)

郷土芸能披露等のほか、西瓜や梨、大山乳業等の特産品、まんがや観光などで本県の魅力をPR



「催事内容」

- ・カービング西瓜の展示や体験
- ・梨の巨大タワー展示
- ・大山乳業コラボ商品等の物販
- ・民芸ワークショップ
(梨の草木染、弓浜紬)
- ・ヨルダン等との連携を検討